



第8回産学官連携推進会議 第7回産学官連携功労者表彰において

村上 敬宜 理事・副学長が「日本経済団体連合会会長賞」を、林 潤一郎 先導物質化学研究所 教授が「環境大臣賞」を受賞

平成21年6月20日(土)、京都市で開催された第8回産学官連携推進会議において、九州大学 村上敬宜 理事・副学長と福岡県 麻生 渡 知事が第7回産学官連携功労者表彰の「日本経済団体連合会会長賞」を共同受賞しました。

また、林 潤一郎 先導物質化学研究所 教授と上杉 浩之バイオコーク技研株式会社代表取締役社長が「環境大臣賞」を共同受賞しました。

■ 概 要

第8回産学官連携推進会議 第7回産学官連携功労者表彰

「日本経済団体連合会会長賞」

事例名：世界初・水素材料に関する先端科学研究センターを設立

-世界の頭脳が集結した産学官連携拠点-

受賞者：村上 敬宜 独立行政法人産業技術総合研究所

水素材料先端科学研究センター 研究センター長

九州大学理事・副学長

麻生 渡 福岡県知事

受賞理由：

水素材料先端科学研究センターは、産総研の高圧水素材料技術の蓄積と、九州大学の水素利用技術の先進性を融合させた、水素材料に関する世界初の研究拠点である。同センターと水素関連企業は霞ヶ関水素ステーションの蓄圧器（鏡部や胴部）の疲労き裂進展解析などの健全性評価を行い、安全利用に向けた技術指針を提供した。また（社）日本自動車工業会と協力し、燃料電池車に必要な高圧水素と材料に関する技術情報を発信している。福岡県が主導する福岡水素エネルギー戦略会議は、500社以上の企業が参加し、継続的な人材育成や同センターの知見を活用した水素関連技術の開発等を行っている。福岡県に立地する研究拠点、水素関連企業の能力を結集した様々な取り組みは、水素利用社会の実現に大きく貢献している。

「環境大臣賞」

事例名：「木質バイオマスを全量燃料にするパイロコッキング技術」の開発

受賞者：林 潤一郎九州大学先導物質化学研究所 教授

上杉 浩之 バイオコーク技研株式会社 代表取締役社長

受賞理由：

九州大学林潤一郎教授とバイオコーク技研（株）上杉浩之社長等は、バイオマスの熱分解により生成するタールをアルミナ固体の表面で迅速に分解し、バイオマスをタールフリーの燃料ガスと炭化物（バイオコーク等）に転換するパイロコッキング技術を開発した。バイオコーク等は、自重の20%以上の水素を発生させる特徴を有し、容易に安価で運べる有望な水素源として評価できる。さらに、本事例では、北海道下川町森林組合等との協力体制のもと、木質バイオマスをその集積サイトにおいて燃料として利用しながら、同時に、バイオ燃料需要地に供給可能な高品位燃料・素材も生産するコージェネレーションシステムを構築している。

■参 考

産学官連携功労者表彰

大学、公的研究機関、企業等の産学官連携活動において、大きな成果を収め、また、先導的な取組を行う等、産学官連携の推進に多大な貢献をした優れた成功事例に関し、その功績を称えることにより、我が国の産学官連携の更なる進展に寄与することを目的とし、平成15年度より毎年一回行われているもので、今回が7回目となります。

第8回産学官連携推進会議 第7回産学官連携功労者表彰ホームページ：
<http://www.congre.co.jp/sangakukan/award.html>

お問い合わせ先：

九州大学広報室

電話：092-642-2106 FAX：092-642-2113

E-Mail：koho@jimu.kyushu-u.ac.jp